

クイズやゲームで感じる外国文化



都路公民館主催の地球キャラバン「チャレンジ教室」が8月21日、船引公民館で行われました。

対象は小中学生で、ふくしま青年海外協力隊の会と県国際交流員のあいさつに続き、世界各国の文化についてのクイズ、じゃんけんゲームなどを行い、外国文化の理解を深めました。子どもたちは最初、恥ずかしがったり、珍しがったりで緊張していましたが、時間が経つにつれて慣れてきました。

最後は、協力隊のOBや国際交流員と仲良くなり「いつか、海外に行ってみよう」などの声が聞かれ、外国のことに興味を持っていました。

スポーツで楽しい触れ合い



特別支援教育啓発セミナー 2012in 田村が8月2日、市総合体育館で開かれました。セミナーには、田村地区の保育所や幼稚園、小・中学校の教職員と保護者の約80人が参加し、フライングディスク・卓球バレー・車いすスラロームなどの4つの障がい者スポーツを体験しました。参加者からは「障がいがあってもなくても一緒になって楽しくスポーツできることを実感した。今後、障がい者との交流や共同学習に活かしたい。」などの感想が聞かれ、ロンドンパラリンピックに関心を寄せていました。

役立っています 宝くじ助成事業



常葉町鹿山笠踊り保存会が9月16日、常葉地区敬老会のアトラクションで、宝くじ助成事業で新調された笠や衣装を身に付け、歌や踊りを披露しました。

- 整備した備品
笠踊り衣装、大太鼓、放送機材（マイク付）



※コミュニティ助成事業は、(財)自治総合センターが宝くじの普及広報事業費として受け入れる受託事業収入を財源に、コミュニティ活動に助成を行い、健全な発展を図るとともに宝くじの普及広報を行っています。宝くじは広く社会に役立てられています。

末永くお元気で 菅波みつさんに百歳賀寿



菅波みつさん(都路町古道)が9月10日に満百歳を迎えられました。

県から県知事賀寿と記念品、市から賀寿が贈られました。また、市社会福祉協議会から賀寿と、入所施設の都路まどか荘から車いすが贈られました。

みつさんは、終始にこやかに賀寿などを受け取っていました。長生きの秘訣は、「粗食を心がけ、毎日、日本茶を飲んでいただくこと」だそうです。

スポーツ振興普及に貢献

市スポーツ推進委員の土屋省一さん(常葉町常葉)が、長年にわたる生涯スポーツの振興普及の努力が認められ、東北地区スポーツ推進委員功労者表彰を受賞しました。表彰式は、仙台市で開かれた「平成24年度東北地区スポーツ推進委員研修会」宮城県大会の席上で行われました。

教育委員会を訪れた土屋さんは、助川教育長に「生涯スポーツ社会の実現に向け精進したい」と受賞の報告をしました。



現場から学ぶ大切さを実感



常葉のアソベンチャークラブは8月8日、移動教室を開き、福島市の福島民報社とヤクルト福島工場を訪れました。

福島民報社では、新聞製作の流れや編集フロアを見学。

ヤクルト福島工場では、担当のかたの分かりやすい説明とビデオ上映の後、ソフールやミルミルなどのヤクルト製品が作られる工場内を見学し、有意義な一日になりました。